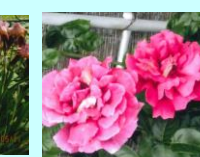
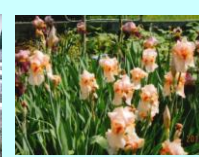


# 緑のカーテン取り組み情報



お名前	小松 和美（南アルプス市）		
育てた植物の種類	ゴーヤ、葡萄(シャインマスカット、巨峰、ベリーA、スチューベン)、胡瓜、モロッコ隠元豆、蔓あり隠元豆、縷紅草、風船蔓、姫雀胡瓜、クレマチス、アブチロン、朝顔 4 種類、淡紫の夕顔		
設置場所	家庭菜園、住宅の南側		
カーテンの大きさ	天上部分 11.4m, 3.03m, 1.1m 高さ: 約 1.9m, 幅(長さ): 約 11.4m	取り組み年数	8 年目

## 緑のカーテンの効果

### ①冷房の温度設定

今年は6月の梅雨は空梅雨で暑さが続き、7月も猛暑だった。8月に入り前半は雨や曇りの日が続き暑い日もあったが9月に入ると急に秋の気配に入り日中も程良く朝夕は新涼の気分になりました。

### ②電気使用量や光熱費の削減

7月オール電化電気の使用量 昨年:4,934 今年:5,828

8月オール電化電気の使用量 昨年:6,365 今年:6,802

エアコンの増設や夜間の冷房を使用した為電気料は昨年より増加した。

### ③視覚的な癒し効果や安らぎ

家屋全体が南向きなので日中強い日差しが照り付けています。そんな時南側全体に緑のカーテンがあり、垂直部分と天井部分に直線に伸びた葡萄とゴーヤの枝は大きな葉を付け隙間から入る光と風は心地良いやし空間になっています。又緑のカーテンの下はプランタでいっぱい。

## 育てる際の工夫・苦労

### ①植物の選定

葡萄4種類を均等に間をおいて植え、その間にゴーヤを13本植え畑に隠元豆、モロッコ隠元豆、東側の家の南側に蔓の花々を植える様にレイアウトしました。

### ②土づくり

毎年同じ場所にゴーヤ・胡瓜を植えるので土の上面30cmは新しい培養土に変えます。

### ③水や肥料のやり方

水は植物専用の井戸を掘って動力でホースに接続してあるので水道水ではないのでたっぷりやれます。肥料(腐葉土50%、牛糞堆肥30%、醗酵鶏糞15%、魚粕5%、玉子殻粉末少々、ヨーリン剤少々、化成肥料14.14.14少々)1cm角のふるいでふるってから与えます。

肥料の与え方 6月中旬 植付け時の元肥。7月中旬、7月下旬、8月上旬、8月中旬。

### ④病害虫への対策

ゴーヤも葡萄も順長に成長していますが毎年8月下旬頃から葡萄の葉が少しずつ枯れてきます。

## 感想・楽しみ方など

### ①花や収穫物の利用方法や楽しみ方

今年はゴーヤの実是最初から付けないよう、花芽は全部取り除き、15~20cmの間隔で設定しているので脇芽は全部かきました。その為花柄の掃除もなく手間いらず。花は、写真に撮ったり、文章にしたり、俳句に詠んだり、絵手紙の教材にて毎月デイサービスの講座で絵を描いてもらっています。又その他の花も差し芽をして南アルプスのボランティア交流会に来場者に差し上げる様300株用意しました。又会場を飾る花も鉢で30株素焼の鉢に仕立てて持って行きます。

### ②取り組みの感想

ボランティアで富士川病院に花苗を毎年100株以上初夏に届けています。5年間行いました。

もし今年も良い結果が得られたならばボランティアの仲間にも緑のカーテンについての取り組みを奨励して行きたい。又緑のカーテンのみならず花や観葉植物をふやして四季折々行っている季節の寄せ植え教室でも広めてゆきたい。